

議第 4 号議案

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

平成 3 1 年 3 月 1 3 日提出

提出者	新座市議会議員	笠原	進
賛成者	〃	亀田	博子
	〃	高邑	朋矢
	〃	石島	陽子

提 案 理 由

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求めるため、この案を提出する。

国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書

国民健康保険制度は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険の医療制度の重要な柱になっています。ところが、高すぎる国民健康保険税に市民が悲鳴を上げています。

国民健康保険の加入者は、かつては農林水産業者と自営業者が7割を占めていましたが、今では年金生活者と非正規雇用者などが8割近くを占めています。また、1984年以降、国庫負担が削減されたことと相まって、国民健康保険の加入者は、協会けんぽや組合健保の加入者に比べて大変重い負担を強いられています。

国民健康保険の構造的な問題を解決し、国民健康保険税を引き下げるためには、十分な公費を投入することが不可欠です。国民健康保険税が高くなる要因の一つに、他の保険制度にはない世帯の人数ごとに掛かる均等割や世帯ごとに掛かる平等割があります。全国で徴収されている均等割と平等割を合わせると、およそ1兆円になるとされており、1兆円の公費投入で協会けんぽ並みの保険税にすることができます。

全国知事会、全国市長会及び全国町村会は、国民健康保険の定率国庫負担の増額を国に要望し続けており、2014年には公費を1兆円投入して、協会けんぽ並みの負担率にすることを求めました。その結果、平成30年度に3,400億円の財政支援が行われましたが、まだまだ不十分です。更に国庫負担を増額することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年 月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

財務大臣 様

厚生労働大臣 様